



山と清流の里に 新たな集いの場が誕生

1月11日、美山地域神崎地区でゲストハウス「ミヤマリトルバレー」の開所式を行い、正式にオープンしました。

開所式には、市長、市議会議長や地域住民など約100人が出席。このゲストハウスは、中村大祐地域おこし協力隊員が一年以上にわたって旧旅館を改装したもので、移住を検討するための宿泊では割引があります。

中村隊員は、「かつて人の集まる場所だったこの建物を宿として再生することで、また地域の人と訪ねてくる人が集う場所にしたい」とこれからの意気込みを語りました。



高富中学生徒が考案した 給食メニューが県最優秀賞



高富中学校生徒が考案した給食メニューが、1月27日、市内の全小中学校で提供されました。

このメニューは県教育委員会が実施した「中学生学校給食選手権(和食文化)」で最優秀メニューとなったもので、同中2年の輪方悠人さんが考案。山田捷太さんと村瀬すぐりさんとともに選手権に出場しました。献立は桑の木豆ごはんやわかさぎの天ぷら、大桑小学校児童が作ったみそを使ったみそ汁など、地元の特産品などをふんだんに使用しました。輪方さんは「受賞したことは驚いた。桑の木豆ごはんの豆がやわらかくておいしいと思う」と話していました。

市に若者を呼び込むには 岐阜大生が研究

1月26日、山県市の地域活性化のインターンシップに取り組んだ岐阜大学学生の成果発表が同大学でありました。

インターンシップに参加した学生は8人で、昨年8月に市内で地域おこし協力隊などから市の魅力などを調査。同大学の学生を対象に「山県市の興味があるもの」についてアンケートを行い、若者向けの観光パンフレットを作成したほか、大学祭でのご当地グルメの試食会などの提案もありました。

この発表に参加した市長は「市の魅力をしっかりと情報発信していきたい」と話し、参加者からも「山県市のことをよく知ることができよかったです」などの意見がありました。



清水さんと田神さんが 全国大会などに出場



第5回アジア柔道形選手権大会に出場した清水和憲さん(写真右)と、全国高校バスケットボール選抜優勝大会に出場した田神優美さん(県岐阜商③写真左)が、1月18日、市長を表敬訪問しました。

アジア柔道形選手権大会で優勝した清水さんは、柔道形の特徴や厳しい練習などについて話し、田神さんは「初戦1勝を目標に戦ったが後半に逆転された。しかし、悔いのない戦いできた」と全国大会の感想を市長に話しました。

葛原連合自治会が 災害図上訓練を実施



1月17日、葛原連合自治会主催の災害図上訓練(DIG)が葛原公民館で行われ、葛原地区の自治会長と防災委員など22人が参加しました。

災害図上訓練は、大きな地図に道路や河川、施設や防災設備などを書き込みながら、避難経路や危険箇所などをグループで議論するものです。

参加者は「自分の住む地域のことを改めて知ることができた」「災害時は、みんなが協力することが大切だと感じた」などと防災への意識を新たにしていました。

地域ぐるみで 文化財を守ろう



1月17日、白山神社氏子総代会主催の防災訓練が東深瀬の白山神社で行われました。

白山神社の拝殿は室町時代に建立された国指定重要文化財です。こうした文化財の保護や地域防災の意識を一層高めることを目的に、1月26日の文化財防火デーにあわせて、毎年この時期に訓練を行っています。

この日は、白山神社自主防災隊や消防団、女性防火クラブなどの地域の団体と消防署も参加し、放水訓練を行いました。

交通安全教育の 推進に功績



梅原小学校が、第56回交通安全全国国民運動中央大会で交通安全優良学校として表彰されたことに伴い、1月20日、同校の原永子校長が教育長を表彰訪問しました。

同校は、交通安全教室や自転車大会などの交通安全教育を推進し、下校時には児童全員が「交通安全のちかい」を読むなど交通事故防止に努めています。県内では同校のみが表彰され、「見守り隊などの活動を含め地域ぐるみで交通安全に取り組んだ成果」と原校長は話しました。

家庭の塩分調査を実施



山県市食生活改善推進員は、12月から1月までに希望のあった家庭を回り、塩分調査を行いました。

この調査は、日本食生活協会から委託された「TUNAGUパートナーシップ事業」で行い、家庭訪問でみそ汁塩分濃度を測定。推進員が、各家庭に減塩についてきめ細やかにアドバイスをしたり「野菜あと皿(70g)摂取」の普及啓発をしたりしました。

明るい社会を 実現するために



第65回社会を明るくする運動作文コンテストで応募のあった市内小中学生の作品の表彰式が、1月27日に市役所でありました。

このコンテストには113人の応募があり、この日は優秀賞と優良賞の11人が社会を明るくする運動山県市推進委員長の市長から表彰されました。優秀賞受賞者は次のとおりです。(敬称略)

優秀賞 青木浩輔(伊自良中②)、松田浩太郎(伊自良中①)、横山実紅(高富小⑥)、堀川翔哉(伊自良南小⑥)

矢島千秋さん 100歳を迎える



1月26日、矢島千秋さんが100歳の誕生日を迎えました。

矢島さんは、75歳まで屋根職人として生計を立て、その後は90歳ごろまで竹細工でかごを作っていました。

長寿の秘けつは「規則正しい生活を送り、おだやかに毎日を送ること」という矢島さん。書くことが好きで、現在でも時間があれば書道を楽しんでいます。